

楽しむ予防歯科 37

虫歯でも歯周病でもなく歯を失う理由

文 飯塚 宏明

text by Hiroaki Iizuka

飯塚 宏明
院長

今日来られた患者さんは18年前に突然左下の一番奥の歯が虫歯でもないのに痛くなり、神経を取って根の治療をして、上からクラウンを被せた患者さんです。18年間何の不自由もなく3カ月に1度のメンテナンスに通われていました。

今日また突然左下が痛くなったと来院され、確認すると腫れていました。レントゲンを撮ってみますと左下一番奥の歯の周りの骨がなくなっています。どうやら歯の根に縦にヒビが入ってしまったようです。

人間の歯は一日4000回も5000回も上下で衝突し-5℃から65℃までの温度変化があり、成人女性の一番奥の歯で60〜80kgの力がかかります。しかも神経と血管を取ってしまったので中から栄養されていません。さらに、常に唾液で濡れている状態です。そんな過酷な環境で働いている歯ですからヒビが入っても不思議はありません。

でもなぜ左下の歯だったのでしょうか？もともと遡ると18年前になぜその全く健康な歯が急に痛くなったのでしょうか？なぜ神経を取らねばならなくなったのでしょうか？なぜその歯だけが痛くなって割れてしまったのでしょうか？

この患者さんのお口の上の歯並びにそって左右の人差し指をそっと入れて

みました。ゆっくり噛んでいただと左側しか当たりません。本人は痛くて「しょうがないので右で噛んでいました」とおっしゃいましたが、指を入れて噛んでいただと左しか当たりません。顎の骨が左の後ろにずれて左の奥歯しか当たらない状態になっていました。

顎の骨は頭からぶら下がっている最後の骨です。頭の位置が変わると当たるところが変わってきます。頭を支えているのはその下の背骨であり骨盤であり、その下の足の骨。そのどこかにズレが生じたために身体が左にねじれ、それを補正するために顔は常に右を向き、結果として顎は左側にズレて一番奥の歯が強くなっています。その状態が長く続いたため歯が耐えきれず、ヒビが入ってしまったようです。お口の中の筋肉を優しくマッサージして筋肉の緊張をとってあげたら、両方の歯が当たるようになり、左側の痛みも引いてきました。

ではなぜ今回急にズレてきたのでしょうか？実は今年の初めに初めてのお孫さんが出来て働いてるお母さんの代わりに昼間子守をしていたそうです。その時に必ず左手で抱く癖があったため、背中の中の筋肉がパンパンに張ってしまったそうです。そこが原因で身体が歪み、顎がズレ、自分の噛む力で歯を

割ってしまったようです。子供の抱き方とベロ回しを教え、自宅でやっていたようにしました。

日常生活の中には自分で自分の身体を壊していく習慣がたくさんあります。歯が痛いという形として現れる場合もあります。本当に歯が痛いのか。身体がこれ以上悪い

姿勢をしていたら「身体が壊れてしまふよ」の警告として歯が痛くなっているのか。

もう一度日常の姿勢を見直してみたいかがでしょうか？



飯塚歯科ホームページ

<https://aidental-iizuka.com>

Profile

1959年 神奈川県小田原市の米屋の長男に生まれる
1985年 日本歯科大学歯学部卒業
1988年 バイクで通勤中トラックと衝突し第1頸椎及び右手首粉砕骨折、絶対安静6カ月の入院生活を送る～ 医療従事者でありながらベッドの上で何もできない自分に出会い、これがきっかけで身体全体を考えるようになる～
1990年 千代田区神田神保町に「飯塚歯科」開設
趣味：ダイビングもうじき800本、60歳でサーフィン始めて毎週通う。
音楽：ボサノバ-セルジオメンデス&ブラジル66、JAZZ-Idea6、J-POP-中森明菜